

ワンヘルス教育実践の取組に向けて 市独自の道徳教材を作成

動物への深い理解をとおして「生命の尊さ」についての大切さを伝えるために、新たにワンヘルス教育実践のための道徳教材を市独自で作成しました。福岡県では、人獣共通感染症対策をはじめとするワンヘルスの理念の実践に関する課題解決に取り組むため、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が令和3年1月公布・施行され、各学校においてもワンヘルスの理念の普及・啓発が求められています。

■目的

ワンヘルス (One Health=ひとつの健康) は、人と動物の健康および環境の保全を一体的に守っていくことです。そのためには、医師や獣医師、環境の専門家や研究者だけでなく、みんなで考え行動していくことが大切です。

市の道徳教育では、動物の「生命の尊さ」について子どもたちが考えを深めることで、ワンヘルスについての学びを深めていきます。

■小学校5年生で実施予定の道徳教材について

教材名：「すて猫のみーちゃん」

ワンヘルスの柱4「人と動物の共生社会づくり」

道徳 内容項目 D19 生命の尊さ(D 20 自然愛護)

作成者：舞の里小学校 教諭 浦 清美

主人公の私と友達のおっちゃんは、近くの公園で捨て猫のみーちゃんを飼っています。二人は、公園で、あるおばあさんに出会います。その方は、みーちゃんを見つけて家に連れて帰ったこと、公園で猫を飼うことが本当に猫にとって幸せなことなのか、そして動物の命に責任をもつことについてなどを二人に話します。二人とおばあさんの会話内容をとおして、動物をよりよく理解し、動物を大切にすることや生命の尊さについて児童が考えを深める教材となっています。

■中学校1年生で実施予定の道徳教材について

教材名：「捨て猫と私」

ワンヘルスの柱4「人と動物の共生社会づくり」

道徳 内容項目 D19 生命の尊さ

作成者：古賀東中学校 教諭 永野 博之

古賀市にある福岡県動物愛護センター職員の話をもとに、本教材を作成しました。主人公マリは友達のみほと空き地の捨て猫を飼うことについて話しています。みほは、以前犬を飼うときに母親から「動物と一緒に暮らしたいなら、その先のあなたの責任もしっかり考えてね」と言われたことをマリに話します。マリの気持ちの変化と福岡県動物愛護センター職員の話をとおして、動物を大切にすることや生命の尊さについて生徒が考えを深める教材となっています。

■**道徳教材の活用について**

各中学校区で作成している来年度版の古賀市独自の人権教育副読本「いのちのノート」に掲載し、各学校で実践予定。

【問い合わせ先】

古賀市役所 学校教育課 井上

電話：092-939-9460